

たたら製鉄の砂鉄採取の地形が残る 兵庫県神埼町【砥峰高原】 2007. 10. 4.

中国山地の西播磨の大製鉄地帯 大量の砂鉄採取跡が長年の時を経て 西日本有数のススキの草原原を作り上げた
素晴らしい化石周氷河地形とたたら砂鉄採取の人工的な地形変化が織り成すきわめて珍しい高原地形



砥峰高原は、標高800～900mの高さで、ゆるやかに起伏を繰り返している。

これは、氷期には気温が今より、7～8℃低下したと考えられており、そのときの気温低下による岩石の凍結・破碎が激しく起こった。山頂部や突出部の岩石は破碎によって崩落し、山上の凹部は崩落した岩石で埋まった。その結果、起伏のきわめて少ないゆるやかな高原状の地形が形成された。

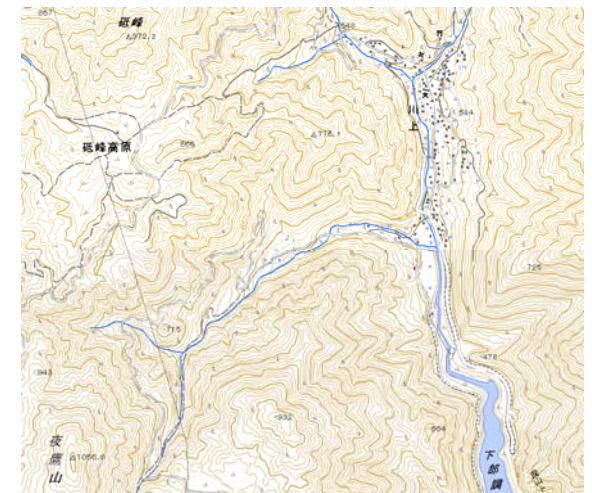
砥峰高原は、このようにしてでき、このような地形を「化石周氷河斜面」といい、通常氷河の周辺に見られる寒冷気候を反映した「周氷河地形」の一つである。

また、砥峰高原内には、いくつかのこんもりと盛り上がった小丘が見られ、また、浅く短い谷がいくつも走っている。秩序がなく不自然なこのような地形は、侵食などの自然の営みでできたとは考えられず、タタラ製鉄のために人工的につくられた地形である。

砥峰高原の谷筋は、表面の砂を削り取った跡や鉄穴流しの跡。また、砂鉄を採った後の土砂がこの谷を埋めているために、浅くゆるやかな谷となっている。小丘は岩石の風化が進んでいない部分で、そのために岩石が硬くて削り取りから残された部分だと考えられる。

砥峰高原には花崗閃緑岩が分布している。風化が進み、真砂（まさ）になっていることが多い。全体的に灰色を呈し、主に石英・斜長石・カリ長石・黒雲母・角閃石から成っている。

この岩体は、「川上花崗閃緑岩体」と呼ばれ、白亜紀～古代三紀にかけて形成された山陰帯の深成岩類に属しており、この中に、砂鉄が含まれている。



たたら砂鉄採取の人工的な地形変化が残る西播磨 砥峰高原 [山の切り崩しと鉄穴流し]





たたら砂鉄採取の人工的な地形変化が残る砥峰高原

【山の切り崩しと鉄穴流し】による人工的不自然な「残丘と平坦な谷筋」地形 2007. 10. 4.

ススキの大草原 初秋の砥峰高原の草花

2007. 10. 4.



うめばちそう



りんどう



せんぶり



つりがねにんじん



ススキの大草原 初秋の砥峰

2007. 10. 4.



ススキの大草原 初秋の砥峰高原

鉄穴流しの谷と残丘

2007. 10. 4.



ススキの大草原 初秋の砥峰高原

鉄穴流しの谷と残丘

2007. 10. 4.



ススキの大草原 初秋の砥峰高原

2007. 10. 4.



初秋の砥峰高原

鉄穴流しの谷

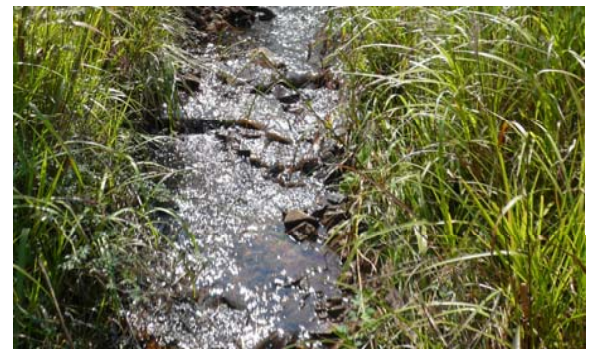
2007. 10. 4.



初秋の砥峰高原

砥峰の尾根筋より

2007. 10. 4.



初秋の砥峰高原 砥峰高原の中央を流れる川 砂鉄が堆積 また、石が赤茶けている 2007. 10. 4.



うめばちそう

りんどう

せんぶり

つりがねにんじん

初秋 砥峰高原の草花

2007. 10. 4.



ススキの大草原 初秋の砥峰高原

鉄穴流しの谷と残丘

2007. 10. 4.



峰山高原の下 大河内集落を彩る真っ赤な曼珠沙華 2007. 10. 4.



峰山高原の下 大河内集落を彩る真っ赤な曼珠沙華 2007. 10. 4.

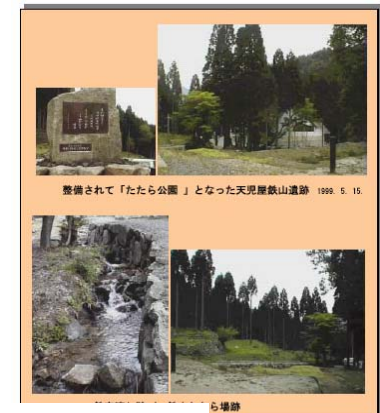


砥峰高原への登り口 大川内町 川上集落と長谷ダム 2007. 10. 4.



鉄穴流しが行われた谷筋

砂鉄が採取された斜面



たたら砂鉄採取の人工的な地形変化が残る砥峰高原

2007. 10. 4.

兵庫県川上鉱山：約 7km², 2km², 岩体内外に黄・マタイト。銅鉱-硫砒鉄鉱脈（川上，長谷，朝日など）
硫砒鉄鉱はヒ素と鉄の硫化鉱物。ヒ素の代表的な鉱石鉱物である。

亜砒酸は宮崎県高千穂町土呂久の鉍毒事件の原因として有名である。

硫砒鉄鉱そのものには毒性はないが、表面に風化による有害な砒素化合物が付着している可能性がある。

手に持った際にはすぐに手を洗淨し、直接口や食物に触れるべきではない。

砥峰高原の自然監視員の人によると この砥峰周辺の鉱脈には大量に砒素が含まれていて、耕作に適さなかったことが、川上集落の人たちが茅場として 守ることが出来た理由だろうという。



うめばちそう



硫砒鉄鉍

